

令和7年度 第4回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2026年（令和8年）1月23日（金） 10：00～11：30

2. 場所：市役所5階第3会議室

3. 出席者：沼間小学校区住民自治協議会（曾志、江連）

小坪小学校区住民自治協議会（原田、吉田）

池子小学校区住民自治協議会（齊藤、青野）

久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、龍村）

※敬称略

地域担当職員リーダー（西海隆総務部次長、堀田昌希福祉部次長、三澤正大環境都市部次長、雲林隆継教育部次長）

市民協働部（岩佐正朗部長、栗原達也次長、小野田和幸係長）

防災安全課（鈴木暁課長、相澤隆課長補佐、藤井延欣係長）

4. 議事

- （1）令和7年度逗子市防災訓練の振り返りについて… 防災安全課
- （2）各住民自治協議会の活動に関する意見交換
- （3）その他

5. 概要

議事（1）令和7年度逗子市防災訓練の振り返りについて… 防災安全課

（防災安全課）

・今年度の防災訓練は5小学校区で実施、各地区避難所運営委員会と協力して行った。今回の訓練はマンホール訓練、地区防災拠点訓練（拠点運営・運営手順、情報連携）などを実施した。逗子小学校区のみペット避難スペース訓練も実施した。

（沼間）

・以前まで行っていたLINEやQRコードによるWEBアンケートはどうなったのか。ツールとしては在宅避難者の安否確認に使える。

・今回の訓練での避難所運営は概ね実施できていた。自主防災組織との訓練や連携などはどう反映していくのか。

・災害時は大多数が在宅避難者と想定される。沼間では在宅避難している人たちの連絡などを何とかしたいと思っている。防災安全課でも力を入れていただきたい。

(防災安全課)

- ・WEB アンケート訓練は本年も実施した。デジタルも組み込みながら訓練を行っている。
- ・自主防災組織について、各地域でのレベル差など課題と考えている。このたび「自主防災組織活動マニュアル」を作成し、HP で公開しているが、このマニュアルの活用方法など各住民協の皆さまの意見を伺いながら考えていきたい。
- ・ここ数年は各地区の避難所運営訓練と合同で防災訓練を各小学校区で実施しているが、令和8年度は全地区が一堂に会する全体的な総合防災訓練を計画している。

(小坪)

- ・自主防災組織のマニュアルについて。HP に掲載していることをなぜ周知しないのか。即、自主防災組織宛てに連絡すべきである。市民が常に HP を見てるわけでない。

(防災安全課)

- ・マニュアルが完成したのが12月であり、取り急ぎHPで公開したところである。今後の周知方法については検討している。自主防災組織向けの研修会など、関係者が集まる際に大きく周知するなど効果的な周知方法を考えていきたい。

(小坪)

- ・3年前から地域で避難所訓練を行っているが、マニュアル通りの訓練をすると時間がかかり午前中では終わらない。また消火器、AED に関しても体験しないと使えないため、継続的に訓練で体験する行う必要がある。
- ・津波について、津波災害警戒区域には補助金の上乗せがある。他市では避難タワーの建設も行っている。逗子市は指定されているのか。

(市民協働部長)

- ・逗子市は海岸もあり海に接していることから、津波の危険性はあると認識している。南海トラフの話もあり、対策としては護岸を整備していくという話は聞いている。安全対策、予算措置は継続して行っている。

(久木)

- ・避難所運営訓練は継続して行っているが、災害時は在宅避難者の方が多いと考える。在宅避難者の対応は自主防災組織になると思うが、地区防災拠点で把握する必要があると感じている。在宅避難者の把握をどうするかが示されていない。その部分にスマホ、地区防災拠点を活用するなど全体的に考えているのか。例えば地区防災拠点に情報を集める手法があれば、在宅避難者のカバーができると思う。

(防災安全課)

・近年の防災訓練は避難所運営訓練がメインであったため、自主防災組織の育成・活性化が図れているとは言えない状況である。在宅避難者は自身のことは自身で考える自助が必要となるが、災害時の対応や在宅避難者のフォローは自主防災組織がメインとなると考えている。

(沼間)

・在宅避難者の心得のような仕組みづくりが必要。在宅避難者は何をすればいいかを示してくれれば、自分の身は自分で守る意識が生じる。まず災害時は何をしたらいいかを提示する必要がある。自主防災組織も人は毎年変わるから何をしてもいいか分からない。
・災害が起きたら自分の身を守るためどうするか、要支援者をどうするか。という訓練をしないと災害時は動けない。横浜市、在宅避難のススメなど、ひな形を作ってほしい。

(小坪)

・防災訓練の様子を見たが、未だにパーティションを組んで訓練している。現状のトレンドなのか。些か古いと感じる。この訓練に必要性はあるのか。

(防災安全課)

・最近では一世帯家族単位でのテントが主流。昨年度、神奈川県から一世帯用のテント⇐120セットが配られ備蓄している。備蓄スペース確保の問題はあるが、今後はテントの備蓄が中心になると考えられる。

(池子)

・今回の防災訓練の全体の振り返り、課題は何だったのか。炊き出し訓練など、5リットルを沸かすが、現実的に難しいと考える。

(防災安全課)

・避難所運営訓練は地域の方が中心となり、企画・実施した。課題については、例えば炊き出しで湯を沸かすのに10~20分かかり、また強風ではガスコンロで沸かすことができないなど、地域の方はやってみてはじめて気づく。その気づきが重要と捉えている。まずは課題を見つけることが重要と考えている。
・来年度は総合防災訓練の実施を考えているが、地域でこのようなことを行いたいという意見を吸い上げて一緒に作り上げていきたい。

(久木)

- ・総合的な避難体制を明確にする必要がある。例えば安否確認の方法。市の本部への連絡、市の本部からの連絡など市と住民をつなぐ連絡手段が必要。WEB アンケートは有効と考えるので、市から登録をお願いするなど、市からのアプローチが必要である。
- ・各自主防災組織のレベル差も課題である。時間がかかると思うが、地域相互の連絡体制が必要。地区防災拠点の役割があいまい、役割を明確にしてもらいたい。
- ・地域から集まってきた情報をどう捌くか。市の職員だけでは無理、そこに住民協がはいるなど、体制をはっきりさせた方がいいのでは。

(池子)

- ・在宅避難者の対応は市が行うことは難しい。住民協、自治会レベルで行うしかない。市のできることでできないことを明確にした方がよい。

(沼間)

- ・何年も言い続けているが、市の役割、住民協、自治会、警察、消防などの役割分担を明確に示すことが必要。役割が明確になれば、避難所に避難するか、在宅避難するかを市民は選択できる。具体的に示すものを提示する必要がある。
- ・市の地域防災計画について。自主防災組織、市民の役割が抜けている。市の中でいろんなセクションはどのような役割など把握しているのか。使えるものを提示することが重要。

(防災安全課)

- ・防災にゴールはないといわれており、継続した対策と更新、アップデートしていくことが必要である。地区防災拠点と住民協の関わり方を含め、今後も皆さまの意見を伺いながら、防災対策を進めていきたい。

議事（２）各住民自治協議会の活動に関する意見交換

(池子)

- ・公園でボール遊びは複数人では禁止というルールがある。子ども達が学校でやっている競技を公園で練習したいが、やる場所がない。自治会の意見をまとめ、住民協で市に提案を考えている。公園ごとの場所によって地域の事情も違うので、公園ごとのルールを作成していきたいという趣旨で地域住民と意見交換をしている。
- ・旗振り隊、風前の灯となってきた。これは地域社会の問題と考え、自治会とも協議し、実態の共有と今後どうしていくのかを考えている。

(小坪)

- ・小坪という海に近い特性をいかして、津波、土砂崩れなどを考え、避難経路や助け合いの訓練を3月に行う予定。

- ・地域活性化について、スズキヤの移動スーパー。利用者アンケートなどで問題点の共有などを考えている。

(久木)

- ・住民協ひろばをお配りした。これで防災訓練の総括をしている。
- ・それに付随して、現編集者が高齢で引退。今後どうするのか。住民協の活動内容は必要となるので2か月に一回程度、ボリュームを減らしてより分かりやすい内容を考えており、今までのやり方を変更することを考えている。
- ・成人のトイレの1日平均は5回、災害時のインフラ停止のため、防災訓練でトイレを自主財源で購入。保管場所や使用後のゴミをどうするかなど課題である。

(沼間)

- ・前回の連絡会で行った青切符について、警察を呼んで2月か3月の代表者会議でお話をさせていただく予定。
- ・スズキヤの移動販売の中で、小坪のレインボーベーカーリーのパンを販売している。周知ということで住民協に宣伝を依頼された。集まりなどで周知する予定。
- ・在宅避難者用のリーフレットの作成に入っている。今年度中に完成を目標に考えている。あわせて地域の福祉施設のマニュアルなど現状把握に努めている。自主防災組織を含めて話し合える場を設けたいと考えている。
- ・防災について、市で視察や、被災地派遣などを行っている。実際に派遣された市職員の体験報告などを聞いて参考としたい。自助、共助の間には近所という要素も大きく関わってくるため、そのような体験を地域の方々と共有したいと考えている。

議事(3) その他

(市民協働課)

- ・地域づくり交付金について、今年度の議会の議決が2月末となる。そのため3月の初旬には申請書類をお送り出来ると考えている。その際は申請書の作成など、よろしく願います。
- ・次回の連絡会は通常であれば3月最終週の27日の金曜日を予定している。年度末のお忙しい中恐縮であるが、ご出席をお願いします。

閉 会